

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東北)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・各商店とも売上は若干上昇し、明るくなってきているようである。春の気候と同様で一進一退しているが、少しずつ良くなっている。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	販売量の動き	・郊外のロードサイド集積に対する車の量は若干ながら増えており、郊外の売上、集積は伸びている。一方で、街なかはなかなか厳しい。基本的には催事によって売上が伸びる状況が続いている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	販売量の動き	・雪が続き来客数の動きは良くなかったが、販売量は増えている。出てくることができるときにまとめて買物をしているようで、1日多かった前年と大体同じくらいの数字になると見込んでいる。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・前年比では良くなっているが、前年は降雪により大打撃を受けた年であるため、前々年比では決して良くなく、90%を切っている状況である。2月は百貨店にとって強みであるオケーションの月である。また、今年の降雪量は前年と比較しても少なく、春物ファッションの立ち上がりも売れ筋が非常に明確であるため、反応は良く上々である。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前月も販売量に注目したが、今月も同様のデータが出ている。特に天候の悪い時には、遠方のスーパーに行かずに近くの店舗で買物をすませている様子がはつきり出ている。そのおかげで売上、買上点数共に伸びている。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・天候に左右され、冬物商材と春物商材の売行きにばらつきが出ているが、商品価値と価格を照らし合わせ、ワンランク上の商品を購入する傾向が強くなってきている。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・白物家電にやや持ち直しの傾向が見られる。特に洗濯機、冷蔵庫、高級クリーナー等々の購入が以前よりも増えている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・エコカー補助金終了直後の反動減も落ち着き、新型車効果もあり、新車販売が上向いてきている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・軽自動車を中心に、豪雪にもかかわらず初売りから継続して売行きが好調である。3、4月の前倒しではないか。
		住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・初売りから契約数は伸びてきているので、若干上向きとみられるが、まだまだ厳しさは変わらない。前年度と比較すれば、少し懐が寒くなってきているようである。
		その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	販売量の動き	・政権交代による期待感が少しずつ出ているようである。また、実際に売上を伸ばしている企業もあり、制服受注につながっている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	販売量の動き	・売上高の前年比の伸び率が、3か月前と比べアップしている。
		高級レストラン（経営者）	お客様の様子	・皆が何となく景気が良くなっていくと思っていて、少しずつ財布のひもも緩んできているのではないが。経済も活性化してきているようである。
		高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・年度末に向けて、食事会や宴席の本数が増えてきている。日中の動きも主婦層を中心に来客数が増えている。
	観光型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・株高に加え、今後はデスティネーションキャンペーンも控えている。一時の風評被害等による不安よりも期待に対する声が大きくなっており、催しなど今まで控えていたものが、少しずつだが増加している。	
	都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・過去にないほどの豪雪となっており、車の通行も歩くのも大変である。当社のショッピングセンターのレストラン部門が良かったが、どうやら客は1か所に集中して、あまり大きな動きをすることがないようである。土産も必然的にそこで買い、総菜も買うなど、完結型で当社が使われているようである。売上が落ちるかと思われたこの豪雪だが、とんとんかそれ以上を保っているという状況である。	

	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・新政権に代わって自民党の主導になり、徐々に景気が上向きになっているようである。ガソリンの高騰などは気になるが、おおむね前に向かって進んでいるようであり、来客数も前年以上に活況を呈している。
	テーマパーク（職員）	単価の動き	・前月に比べ来客数の伸び率は向上し、単価の伸び率は更に上昇している。
	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・来客数、販売額共に増加している。見積件数や1件当たりの金額も増加している。
変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・寒さが続いており、その影響がかなりある。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・週末ごとの降積雪に客足も遠のき、押しなべて苦戦続きである。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・寒さが厳しく、商店街には活気がない。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・2月に入り、長びく寒波や積雪の影響から消費がやや停滞していることに加え、野菜中心に価格が高騰しており、飲食店、スーパーが特に苦戦している。全体的に消費動向が弱い。
	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・今年は前年と比較にならないほど雪が多く、その雪も氷点下で凍る日が続き、歩く人が非常に不便を感じているようで、街には人が本当に出てこなくなっている。来客数は非常に少ないが、その分、何とか単価で震災前と同じような経営を維持しているというのが現状である。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・例年のない降雪、低温と悪天候が続いたため、日により来客数に幅があり、シニア層の来店が少なくなっている。ギフト関連や入学、卒業、新生活など、目的を持った客の来店により、総体的にみるとほぼ計画どおりの動きとなっている。
	百貨店（総務担当）	販売量の動き	・前半は比較的销售量も好調に推移したが、中旬以降は天候、特に雪や気温の影響で、販売量及び来客数が落ち込んでいる。
	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・前半はバレンタイン需要など前年を5%上回ったが、後半は降雪量が多く、足元が悪くなり、シニア層の買上の落ち込みが顕著となっている。一部輸入品の値上げもあり、値上げ後の動向が懸念されたが、値上げ数日後にはほぼ前年並みに回復している。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・売上は引き続き前年を上回るペースであるが、特に大きく伸びているわけではなく、堅調に推移している。しかし、特選ブランド品の売上が良いことが目立つ一方で、物産展は苦戦している。
	百貨店（買付担当）	販売量の動き	・当地においては、積雪量及び気温の低下の影響もあり、冬物処分が図られている。
	百貨店（経営者）	お客様の様子	・前年と比較すれば降雪の影響が少なく改善しているが、直近状況は変わっていない。来客数は増えず、珍しい催事や人気催事、美術、宝飾といった高額品は高水準で推移するものの、デイリー性の強い商品が厳しい。特に食品の生鮮の推移が厳しい。
	スーパー（経営者）	来客数の動き	・前年に比べ降雪が少なく来客数は多いものの、買上点数が減少している。また、競争で価格は低下している。2月は営業日が前年よりも1日少ないのもダメージになっている。
	スーパー（経営者）	単価の動き	・1品単価の推移は変わらないが、買上点数の伸びが鈍化してきた。買上客数の伸びも1年で最も低い。競合店の新規出店もあるが、その他の店舗の伸びも鈍化してきている。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・集客状況は安定しているが、買上点数、1品単価、客単価の減少で売上ダウンの流れは変わっていない。買物における客の儉約傾向が続いている。
	スーパー（店長）	単価の動き	・今年は寒さが厳しく、前年に比べカイロ等の暖房用品や鍋物食材が好調である。灯油タンクは売切れとなっている。来客数は変わらない。
スーパー（物流担当）	販売量の動き	・生鮮商品、ドライ商品の動きは良くなってきているが、大きな要因は特売商品の動きであり、本来の定番商品の動きは変わらない。円安が進み、冬期の石油価格の上昇は直接消費に影響し、客の動きはより価格の安いもの、価格の安い特売商品へと動いている。	
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・既設店舗の来客数の前年割れが継続している。	

コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数のトレンドに変化が無く、前年を下回る状況が続いている。
コンビニ（エリア担当）	競争相手の様子	・自他含めて新規出店が増えており、競争は激化している。
コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・相変わらずたばこの前年割れが継続している。それに伴い単価も微減している。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・大雪や低温の日が多かったため、来客数が大きく減少し、売上も低迷している。
衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・入札等々では価格破壊的な落札価格で利益を度外視した風潮が見られる。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・本当に人が出てこない。来客数が少なすぎる。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・このところの寒さで春物を含めて服に客の目が向いていないのか、服の買換えや買足し、特にこの時期は買換えに動きがいくところだが、まだそんなに動いていない状況である。景気が上向きになっているとは判断しかねる。寒さが足を引っ張っているのは事実である。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・フレッシュ客の来店は増えているが一般の客は減少しているため、トータルで見ると来客数は前年並みである。
衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・週末の度に降雪があり、来客数の減少につながる要因はあったが、この時期売れていい品目が売れないといったこともあり、景気が改善されている様子はうかがえない。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・景気の底は脱したようだが、すぐに改善することも考えられない。
家電量販店（店長）	単価の動き	・当県の場合、震災の追加の賠償金が出ているので、こちらでの買物が若干見受けられるが、売上を押し上げるには至っていない。長期的には新政権の経済対策に対する期待感が持てるという話は客からも聞くので、期待はしている。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・年度末商戦に突入し、客は少しずつ店頭に戻りつつある。しかし、今月の大雪の影響を受けて思ったほど増えず、新車の受注販売共に、2、3か月前と比べて減少幅は縮小しつつあるものの、前年に比べ20%前後ダウンする見通しである。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・最近の流れは間違いなく良い方向に向かっているのだろうが、当市ではその改善の流れが感じられない。その原因は当市での建設ならびに土木業界の脆弱化にあるのではないかと。今更だが、この業界の景気のけん引力は大きい。
乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・直近3か月、販売量は前年比7～8割と低水準で推移している。サービス収益は前年並みを何とか維持している。
その他専門店 [食品]（経営者）	販売量の動き	・冬期間のガソリン、灯油のコストアップ、電力会社の値上げ申請などで消費者の意識が明らかにマイナスになっている。そのため、来客数も販売量も落ち込んでいる。
その他専門店 [ガソリンスタンド]（営業担当）	販売量の動き	・震災復興需要で、建設関連需要が前年を大幅に上回っているにもかかわらず、燃料油需要は前年比95%程度と前年割れが続いている。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・3か月前も悪かったので、変わらない。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・弱含みの状況は続いているが、下げ止まっているようでもあり、何ともいえない一進一退の状態である。しばらく今のような状態が続き、やがて上向いてくれればいいが、今のところはまだ回復している様子はうかがえない。
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・年明けから続いている静かな流れが継続している。具体的な景気復興へ向けての政策や、今後のTPPにおける地元農家の不安感なども影響しているようである。
都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・デパート地下の総菜販売は、好調な百貨店に支えられ、単価は下落しているものの利用人員の増加により増収となっている。しかし、ホテル内のレストランに関しては、総じて単価は下落しており、商品ベースにおいてもその傾向がはっきりしている。新年会は規模が縮小しており、同じ仕事をしていても実入りが少なく、売上が減少している。

都市型ホテル (スタッフ)	それ以外	・現金収入の外販事業が定着し、県内の自治体、団体主催イベントへの飲食出店依頼が増え、売上も前年比250%と驚異的に伸びている。しかし、売れ残り等廃棄処分の製品も多く、人件費及び諸経費など収支を精査する必要がある。柱となる一般宴会の法人利用は伸び悩んでいる。	
都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・被災地の特需で、宿泊、レストラン、会合等すべての部門で来客数が増加していた状況が落ち着き、今年に入ってからの来客数は前年を下回り始めているが、売上自体は極端な落ち込みはなく、来月以降の予約状況も前年に近い状況で推移している。	
旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・個人旅行の動きが落ち着いてきている。また、円安に振れて旅行業界は多少収益性が悪くなってきている。 Guamでの通り魔事件の影響もあり、先行きが分からないというのが本音である。	
旅行代理店(店長)	お客様の様子	・年度末3月の個人の海外旅行の受注が前年比250%である。また、販売系会社を中心に、社員全員やインナーインセンティブとしての海外旅行や沖縄、北海道といったロング方面のオーダーが相次いでおり、予算も高めである。	
タクシー運転手	来客数の動き	・雪が降ればその時は忙しくなるが、雪がやむとこれまでどおりの状況である。雪が降ると車の数もかなり少なくなるし、それと同時に車も持ち出す人が多いので、状況がつかめないでいる。	
タクシー運転手	来客数の動き	・昼も夜も客足が非常に少ない。客の節約している状況がよく見える。	
通信会社(営業担当)	競争相手の様子	・金融緩和の影響が果たして消費者へ還元されるかの見通しがまだ立たない。過去の家計のマイナス分が賃金上昇に繋がるのは夏以降がカギとみられ、実際はまだ景気については変わっていない。	
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・景気回復傾向との声はあるが、身の回りで良くなっている実感はない。	
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・政権交代後約2か月が経過しているが、株価は上昇傾向にあるものの、客の様子からは景気改善の兆しはみられない。	
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・顧客の設備投資意欲に変化はみられない。	
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・客との商談においても一部の報道にあるような好況感はない。地場企業のほとんどは好況感を感じていないどころか、むしろ円安のデメリットがあるようである。	
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・豪雪の影響もあって客の購買意欲が生活必需品に偏っており、テレビ、通信への支出は優先順位が低いいため、新規加入者も停滞している。2月は一段落した状態で客の動きに変化が見られない。	
観光名所(職員)	来客数の動き	・天候不順により、JR等の交通機関を利用して訪れた客は少なくなっている。しかし、団体客の利用が増加したため、来客数は前年同時期を上回っている。	
観光名所(職員)	来客数の動き	・大きなイベントがあり前年を上回る来客があったが、その開催期間以外の人の動きは鈍い。	
遊園地(経営者)	お客様の様子	・休園期間であるため、具体的な動きは学校、団体の予約や客からの問い合わせのみであるが、前年と比べてまずまずという印象である。	
美容室(経営者)	単価の動き	・客単価は横ばいがずっと続いており、なかなかプラスの注文がある状況にはなっていない。	
設計事務所(経営者)	来客数の動き	・先月の状況とほとんど変わらない。	
住宅販売会社(経営者)	販売量の動き	・予定していた受注が順調に契約に至っている。	
その他住宅[リフォーム](従業員)	来客数の動き	・3か月前と比べて、問い合わせ件数は増えていない。	
やや悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・2月に入り連続的な豪風雪、大雪があり、客や人の出入りが大きく減少し、厳しい状況である。
	一般小売店[カメラ](店長)	販売量の動き	・低価格商品の動きは横ばいで推移しているものの、高額商品の販売量が減少している。売上額も減少傾向である。
	百貨店(経営者)	販売量の動き	・16日以降は寒波の影響もあり客足が減っている。冬物クリアランス、春物定価品共に動きが止まり苦戦している。売上の前年比は3か月前よりも厳しい状況である。

スーパー（経営者）	それ以外	・週末ごとに寒波の影響で雪が降り、来客数が減少している。なおかつ、夕方の道路状況により客の買い回りが狭くなっている。
スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数は相変わらず微減で推移しており、買上点数は横ばいである。節分、バレンタインのイベントはいずれも前年実績を下回っており、身の回りの景気は悪くなっている。
スーパー（店長）	販売量の動き	・販売量や買上点数が伸び悩むとどうしても厳しくなる。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・これまで同様、放射能の影響もあるが、それに加えて前月同様雪の量が多く、客の動きはかなり鈍くなっている。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・競合店の出店が大きな原因だが、同エリアのオーナーたちとの会話でも、売上前年比は95%前後だという。客単価よりも来客数の減少が大きい。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・天候が悪いこともあり、客足が久しぶりに落ち込んでいる。また、震災特需も徐々に薄れており、現在、当市内の景気は下降気味のようである。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・連日の大雪に加え、近隣の競合オープンの影響がまだ続いている。雪の対処で朝の来客数とシニア層の来客が著しく減少している。
コンビニ（店長）	お客様の様子	・レジで接客をしているが、来店客からは企業の倒産だとか取引が無くなったといった話が聞こえてくる。今後に対して非常に不安を感じているということもあり、購買点数など、当店の販売傾向においてもかなり下向きになってきている。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・雪が多く、暖くなるまで販売はなかなか伸びない。
自動車備品販売店（経営者）	それ以外	・灯油、ガソリンの値上がりに加え、長引く積雪、低温のため、それらの消費量が増えて経費を圧迫している。反面、排雪業者はまだまだ仕事が減らないようである。
住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・例年2月は暇な時期なので販売量は少ないが、最近では同業者の大手が新店舗の出店や売出しに力を入れており、それが売上減の原因になっている。
その他専門店〔パソコン〕（経営者）	お客様の様子	・季節的なものが、問い合わせが少なく、客の動きは悪くなってきている。
その他専門店〔酒〕（経営者）	お客様の様子	・今年は積雪量が多く、消費者に経済的にも心身的にも余裕がない。夜の飲食店も例年に比べて静かである。このため、支払がスムーズにいかない得意先も出てきている。今まではなんとかかしてきたが、今月は本当に苦しい様子がうかがえる。
その他専門店〔靴〕（従業員）	販売量の動き	・豪雪と低温で買物客の出足が鈍い。
その他専門店〔酒〕（営業担当）	来客数の動き	・地元は、様々な行事に加え、豪雪の影響で、仕事場でも個人でも除雪作業に追われている。また、インフルエンザや風邪、除雪作業の疲労により体調を崩す人が多く、飲食店への影響が大きい。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・長引く寒波の影響で暖房用の燃料の需要は堅調に推移しているが、ここにきて円安の影響で原油の輸入価格が上がってきており、価格転嫁とのタイムラグが発生して収益を圧迫している。また、単価の値上がりで、需要を抑制しようとする意識が高まってきており、販売量も頭打ちの傾向が強まってきている。
高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・今冬は天候に泣かされている。客の来館動機を萎えさせる厳しい冬である。
一般レストラン（経営者）	それ以外	・今月は忙しいが、3月の予約があまり入っていないので、景気はあまり良くないようである。
観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・震災から約2年たったことと冬の寒さにより厳しい入込であり、前年11月以降、前年比で右肩下がり傾向である。かろうじて例年の人生の節目の厄払いや同級会など、地元のリピーターが善戦している。
観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・平日の宿泊客が更に少なくなっている。土曜日も直前まで予約が入らず、満室にならない土曜日も出てきている。全般的に宿泊客は低調に推移している。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・復興関連での宿泊は前年より少なくなっている。宴会関係ではまだ前年並みだが、いつまでも続くとは思えない。料飲関係では大雪の影響もあり、夜の利用者が少なかった。

		タクシー運転手 通信会社（営業担当） 美容室（経営者）	お客様の様子 販売量の動き お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・乗車する車を選ぶ様子が非常に多く見受けられる。 ・来月の繁忙期を見越して買い控えをしているため、販売量が減少している。 ・最近、結婚式に招待され髪をセットされた方に、着物を着ることを勧めたが、着物の購入も着付け料も出費がかさむのでスーツで行くとのことだった。まだまだ余分な出費は抑えようとする傾向があるようである。
	悪くなっている	一般小売店〔医薬品〕（経営者） 一般小売店〔寝具〕（経営者） 衣料品専門店（店長） 住関連専門店（経営者） 一般レストラン（経営者） 観光型旅館（スタッフ）	単価の動き 販売量の動き 来客数の動き 販売量の動き 来客数の動き 販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・震災後2年がたとうとしているが、その間でも今月の来客数は最低水準であり、客単価は底を割っている。ここ半年ほどは徐々に改善し、底固さを感じただけに、悪化しているという感じをひととき強く受けている。当店の地域に積雪はほとんど無く、悪化要因を気候に求めることはできない。 ・例年2月は商品の動きが鈍いが、今年もそのとおりである。 ・大雪で除雪に時間をとられることと、除雪作業で疲れ果てて来店が少ない。雪が降らない日は、気温が低くて出かけない。 ・中旬までは前年並みの売上であった。前年も大雪のために苦しんだが、中旬以降は豪雪のため交通が麻痺状態で来客数が極端に減少してしまい、更に大幅に落ち込んでいる。 ・来客数及び1人当たりの単価が落ちている。 ・例年より多くの休館日を設定したため、基本的に売上が少ない。また、オフシーズンの主力となる団体客の取り込みに失敗したことも大きく影響している。
企業動向関連 (東北)	良くなっている	その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者） その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	受注量や販売量の動き 受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・物量、売上、利益のいずれも前年比約110%になっている。景気が良くなっているようである。 ・被災地復興計画がようやく青写真になってきたからだろうか、県内の飲食店向け、スーパーマーケット等の小売向け出荷が好調である。県外出荷は好調とまではいかないまでも、まずまずの出荷量である。
	やや良くなっている	木材木製品製造業（経営者） 電気機械器具製造業（企画担当） 建設業（従業員） 通信業（営業担当） 広告業協会（役員） 経営コンサルタント 司法書士 コピーサービス業（経営者） その他企業〔工場施設管理〕（従業員）	受注価格や販売価格の動き 受注価格や販売価格の動き 受注量や販売量の動き 取引先の様子 それ以外 取引先の様子 取引先の様子 それ以外 取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅部材の需要がおう盛であり、かつ販売単価の改善も進んでいる。 ・当社関連の電子部品の販売価格が回復していることに加えて、円安の影響で業績も大きく回復している。 ・自治体発注の大型公共工事等の受注が堅調である。 ・円安の影響がみられる。 ・テレビ、ラジオ、新聞、雑誌のマスコミ4媒体はラジオを除き震災以前に戻りつつある。3月の季節的要因も加わっているが業種も広範にわたっているのが今回の特徴である。不動産関係は依然好調であるが、東北以外の地域からの新規参入企業が増えている。震災後の復興需要が続くのを見込んでの進出とみられる。 ・Web制作会社では2月以降ホームページ作成依頼が急増している。 ・分譲地の販売が好調であり、消費税増税前の駆け込み需要としての住宅着工が増えることにつながっている。 ・体感はしていないが、取引先や周りの状況、話の内容からは景気が良くなってきた様子がうかがえる。 ・当地を舞台にしたドラマ放映の影響により、関連商品の売上や観光客が増えて、地元の景気が上向いてきている。納品業者や関連商品の食品会社の人たちも受注が増えたと話している。
	変わらない	農林水産業（従業員） 食料品製造業（総務担当） 繊維工業（経営者） 一般機械器具製造業（経営者）	それ以外 受注量や販売量の動き 受注量や販売量の動き 受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・前年の農家収入は風評被害が続き価格が下落したことにより、震災前の7割程度であった。 ・受注量の前年比を見ても、消費者の購買意欲の向上は見られない。 ・周りの雰囲気的には良くなっているが、取引先の状況では予想以上の寒波により季節商材の店頭での売上が良くないため、受注も良くない。 ・自動車部品については、輸出は比較的堅調だが、エコカー補助金が終了した国内向けがやや減少傾向にある。

	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新年に入ってから小口工事の受注が続いている。また、マスコミも景気が良くなるような数値や記事が増えているので、客は心理的にも動かされているようである。	
	建設業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・土木関係で国及び自治体より多くの案件が出件されるも、現状で大きな変化は無い。	
	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・状況が良くなる要素も少なく、当分この状態が続く。	
	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・全体では減少傾向にあるが、一部の大口顧客からの引き合いがあり、これをカバーする形になっている。	
	通信業（営業担当）	取引先の様子	・震災が風化しつつあり、復興スピードが鈍化している。政治の影響もあり、企業が活性化できる土台ができていない。	
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・例年にない寒波、大雪で建設土木関連の除雪需要は多い。設備関連ではソーラー関連の需要が多い。	
	金融業（広報担当）	取引先の様子	・特に大きな動きは見られない。	
	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・期待していたほど案件数が増えていない。年度末の駆け込み需要も、前年と比べると激減している。予算を消化せずに繰り越す企業が多くなっている。	
	公認会計士	取引先の様子	・クライアントの月次、決算状況から判断すると、建設関係は好調であるが、それ以外の業種は売上、利益とも目立った伸びは見られない。	
	その他企業〔企画業〕（経営者）	取引先の様子	・震災関連需要はあるものの、基礎用生コンの高騰や資材調達のひっ迫、職員の賃金高騰と不足、外注工事の遅延や順番待ちなど供給体制を整わせることに困難を極め、利益率の激減状態が続いている。	
やや悪くなっている	農林水産業（従業者）	取引先の様子	・米の取引業者からの精算金の入金が遅れている。	
	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年よりは良いものの、2、3か月前との比較ではやや悪くなっている。牛タンの人気がここへきて陰りが出てきているのではないかと。	
	出版・印刷・同関連産業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前の受注残は前年を上回っていたが、今月の受注残は過去数年を下回る95%くらいになっている。	
	土石製品製造販売（従業者）	競争相手の様子	・同業者内での打ち合わせでも、年度末の新規発注工事がほとんどない状態ということで話が沈んだ。予算と実績を照らし合わせても、今年度末は実績が大いにダウンしている状態である。	
	電気機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・地域企業を訪問していると、工場に製品が少なくがらんとしているところが多い。	
悪くなっている	-	-	-	
雇用関連 (東北)	良く なっている	アウトソーシング企業（社員）	それ以外	・細かい仕事だが確実に増えている。
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・人材紹介サービスを利用しないまでも、個人がハローワーク求人へ積極的に応募しており、実際に決定していている。ただし、求人意欲のある企業が大分絞られてきているのも事実である。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・サービス業や警備業を中心に、今の大学4年生を追加で採用したいという問い合わせが増えてきている。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・建設関連やコールセンターを中心に企業からの注文依頼が増えている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・業種に偏りはあるが、小売や建設関連の募集広告が目につくようになってきている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・運送、医療関係に加え、サービス業においても求人の動きが出てきている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数の前年同月比の増加率が1けた台から2けた台に戻ってきている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は4か月連続で前年比2けたの増加となっている。また、月間有効求人数は23年5月から21か月連続で前年比20%以上の増加となっている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数の動きは大きな変化は無い。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・2月は前年の臨時的な広告出稿を除けばほぼ例年並みとなっている。しかし、3月の申込は出だしこそ良かったが、それからの伸びが見られない。
職業安定所（職員）		周辺企業の様子	・引き続き休業などの雇用調整の動きが続いている。	

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・企業整備などもあったが、求人数が高水準で推移していることから、求人倍率も前年8月から1倍前後で推移している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人倍率は引き続き改善が持続しているが、このことで景気が上向いているということを実感する場面は少ない。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求職者数は前年比で増加傾向に転じているものの、求人数の増加は続いており、有効求人倍率はほぼ1倍で推移している。
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・当所の基幹産業である製造業の求人の落ち込みが止まらない。中央では政権交代により景気浮揚感があるようだが、地方に波及するにはもう少し時間が掛かる。
やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・派遣業務の注文案件数に対する登録者数が減っており、そのため成約率が前年に比べて半減している。3か月前と比べて悪化している。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・やや下向き傾向に落ち着いているのが現状である。前年末までの復興景気及び総選挙も一段落し、その反動が出始めている。
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・求人等については増加傾向にあるものの、製造業の不調が目立つ。ここへきて工場閉鎖や業務縮小が相次いであり、建設業や医療福祉業での人手不足感はあるものの、全体的には状況が悪化している。
悪くなっている	-	-	-